

折に触れ 四字熟語

NO. 198 『論功行賞』 ろんこう こうしょう

< 意味 > 功績の有無や大きさの程度を調べ、それに応じてふさわしい賞を与えること。「功を論じ賞を行う」と訓読する。

< 出典 > 『魏志』明帝紀「功を論じ賞を行^{ぎし}い、各^{めいていき}差有^{おのおの}り」

用 例： この出来事は、重臣団をはじめ士卒の端々にいたるまで、激しい衝撃を与えずにはおこな
かった。本来ならば論功行賞を授けられてしかるべき勝利の将^{ジェネラーレ}軍が、その温厚慎重さの
ゆえに面責され、追放に処されたのである。< 辻邦生・安土往還記 >

語 釈： 「論功」は手柄の大小を調べること。

一 言： 自民党の総裁選が行われた後の役員・組閣人事が順次報道される中で、10月2日の goo 辞
書四字熟語のランクで1位になっていました。

参考文献： 岩波書店「四字熟語辞典」